

# NPO/NGO アジア キッズ ケアだより

【住所】〒791-3131 愛媛県伊予郡松前町北川原 1054-3 【発行者】代表:喜安 美紀 【発行日】2024. 4. 23(通巻第21号)  
【HP】<https://asian-kids-care.com/> 【E-mail】[kids@asian-kids-care.com](mailto:kids@asian-kids-care.com) 【団体設立】2004. 2. 11 【法人設立】2011. 9. 13  
【TEL】090-5912-4515(事務局長:喜安) 【郵便振替】口座番号: 01600-5-13009、口座名義: NPO法人アジアキッズケア  
【ゆうちょ銀行】店番:169、店名:一六九店、口座番号(当座):0013009、受取人名:NPO法人 アジアキッズケア

2004年2月にアジアキッズケアを発足(2011年法人化)し、アジアやアフリカの貧しい子供のサポートを始めて20年が経過しました。現在まで、支援物資1,181箱を18か国で現地協力者と連携して手渡すとともに、2021年11月からは「ハレルヤ子ども食堂」を毎月開催し、必要な方々に食事等を提供しています。20年間支えてくださった皆様に心から感謝します。

2024.4.23

NPO法人アジアキッズケア 代表:喜安 美紀、事務局長:喜安 勝也

## アジアキッズケア発足20年 … 娘の昇天とビル師との出会いにより活動スタート

2003年2月に娘が昇天してから、「娘の生と死には、何か意味がある」との思いがずっとあり、半年後にニューヨーク・ブルックリンで子供支援をしているビル・ウィルソン牧師の講演を京都で聞く機会を得ました。彼は、母親に捨てられた孤児でした。ビル師は、「子供たちは、獅子に噛まれる羊のようです。私たちはそれを見た時、黙って見過ごすか、助けに行くかの選択肢は二つ。あなたはどちらですか？一歩踏み出しませんか？」と話され、その日子供支援活動を始めようと決心しました。



ビル・ウィルソン師と孤児たち



9歳の頃の元気だった娘



第1回支援物資の荷造り(インド)



インドの孤児院で衣類の配布

20年の支援活動の中では、現地の子供の成長・自立という大きな喜びがありました。加えて、この活動は彼らに必要であるとともに、日本の子供にも有意義で大切な経験だと感じました。学校の友達に呼び掛けて、支援物資を収集し届けてくれるのです。外国の困っている子供の立場に立ってできることを考えたり、自分の生活を見直し感謝するようになったり、人の役に立つことを実感し自己肯定感に繋がったり、こうした姿を目のあたりにし、これを伝えなければと考えるようになりました。

## 20年の歩みで子供支援の輪が拡大 … 笑顔の連鎖、まごころは国境を越えて繋がる

送付先の人々の暮らしや現状・ニーズ等を知り、現地の人々と触れ合い交流することはとても大切です。必要な物資を中古であっても「自分がもらって嬉しい状態の物」を収集し、現地協力者等と連携し私たちのまごころを添えてプレゼントします。貧困の子供がサポートにより学校に行き自立し、家族や地域や国を支え、支援リーダーに成長することを願っています。



国際交流と荷造りボランティア



留学生と共に小学校等を訪問



フィリピン訪問し支援物資を配布



ウガンダ孤児のコンサート(松山)

現地から「サポートをありがとう」等のメッセージとともに、子供の笑顔の写真や報告が届きます。当初小学生だったマラウィ孤児が大学を卒業し、「自分が受けた支援は、今後は自分がやる番だ」と語るなど、受益者から支援者へと成長しています。



フィリピン貧村の子供の笑顔



衣類をもらって喜ぶマリの子供



大学卒業したマラウィ孤児



みんなが笑顔でまごころ込めて

## ハレルヤ子ども食堂でみんなが笑顔で幸せに … 子供が主役、外国人も仲良く会食

2021年11月スタートのハレルヤ子ども食堂は、温かい手作り料理をまごころ込めて提供し、外国人も一緒に「仲良く楽しい会食」がモットー。老若男女が手を繋いで、皆さんと共に支え合い助け合えば、笑顔が一杯溢れて平和と幸せが訪れますね。

また、「子供たちの、子供たちによる、子供たちのためのサポート(敬愛するリンカーン氏の言葉を基に)」は、私たちから若い世代に繋ぐ大切なキーワード。当事者の想いや喜び・悲しさを一番よく知り共感するのは、本当の友達。彼らはまごころ尽くして仲間を助けます。やがて成長して、困っている人々に手を差し伸べる支援リーダーとなり、温かい共生社会の礎に😊



外国人の家族も仲良く参加



親子で楽しく調理し会話も弾む



絵本や紙芝居等の読み聞かせ



大学生等による楽しいゲーム

## 子ども食堂にて親子が一緒に楽しいイベント … 心と体が明るく元気になるように

子ども食堂で皆さんの心と体が元気になり、親子一緒に心温まる時間を過ごしてほしいと、食事や食材等の提供に加えて、楽しいレク(紙芝居等)及びイベントを開催しています。子供と家族、高齢者、外国人等、どなたも大歓迎です。また、地域の皆様と被災時を想定した炊き出し等の社会貢献活動も行っています。外出が困難な方は、ご家庭に食事等を届けています。

○日時:毎月第 2・4 土曜日 11:30~13:30 ○参加費:子供(高校生まで)無料、大人 200 円(75 歳以上は無料)

○会場:松山福音センター(松山市平和通 1 丁目 6-6、TEL.089-925-1008) ※駐車場有、ボランティアも大歓迎です



お芋ほりの後は、おやつにして



ピアノとバイオリンのコンサート



サンタさんから絵本のプレゼント



老若男女が一緒に仲良く餅つき

## 荷造りボランティアを継続 20 年 … 支援物資をまごころ込めて 18 か国に 1,181 箱

この支援活動には、日本の子供や若い世代が多数参加しています。彼らは、「国際協力をしたい」、「社会貢献活動をしたい」、「英語を活用したい」、「SDGsで衣類等を海外で再利用したい」、「総合的な探求の時間で国際理解を学びたい」など、動機は様々ですが、一歩前に踏み出すことに大きな意義があり、私たちは主体的で積極的な行動を応援しています。



支援物資を持ち寄って荷造り



ピーター夫妻と共にコンゴに発送



エドワードさんのフィリピン紹介



国境を越えみんなで手を繋ごう

ボランティア活動を通して、彼らは『現地の子供の笑顔に自分も笑顔になった』、『私たちの行動が学校に行けなかった子供の生活に良い変化をもたらしたことが嬉しかった』、『同世代の子供の役に立っていることが確認できて良かった』、『自分が恵まれた環境にあることを知り、感謝の気持ちが芽生えた』、『日本の良さや日本製品の優秀さを外国人の目から理解できた』等の感想を持ち、グローバルな視野で世界に貢献する夢や希望を語るなど、彼らの将来にインパクトを与えています。

※支援物資の送付実績 1,181 箱、送料経費総額 7,898,611 円(2024.4 現在) ◎荷造りボランティアは 220 回を超え実施

**<荷造りボランティアに参加してみませんか>** ※アジアやアフリカの貧しい子供のために、あなたのできることで

【実施日時】偶数月の第 3 日曜日:14 時~16 時 【実施場所】アジアキッズケア事務所 ※ボランティア参加証明書を発行小学生から大人まで参加、留学生等による母国紹介など、楽しい国際交流や国際支援活動の場になっています。

※できましたら、支援物資(夏物衣類、文房具、ピアノカ、バッグ、バスケット・サッカーボール等)をご持参ください。